

済生会横浜市東部病院麻酔科専門研修プログラム 概要

- 研修の前半2年間のうち1年間、後半2年間のうち6ヶ月は、責任基幹施設で研修を行う。
- 慶応義塾大学病院では、最低6ヶ月は研修を行う。
- 研修内容・進行状況に配慮して、プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるように、状況に応じて9関連研修施設でのローテーションを構築する。

研修実施計画例

年間ローテーション表

	1年目	2年目	3年目	4年目
A	済生会横浜市東部病院	済生会横浜市東部病院6ヶ月、 慶応義塾大学病院6ヶ月	済生会横浜市東部病院6ヶ月、 東京都立小児総合医療センター6ヶ月	国家公務員共済組合連合会立川病院 6ヶ月、 済生会横浜市東部病院6ヶ月
B	済生会横浜市東部病院	慶応義塾大学病院6ヶ月、 済生会横浜市東部病院6ヶ月	関東中央病院6ヶ月、 済生会横浜市東部病院6ヶ月	東京都済生会中央病院6ヶ月、 済生会横浜市東部病院6ヶ月

週間予定表

済生会横浜市東部病院の例

	月	火	水	木	金	土	日
午前	手術室	手術室	手術室	休み	手術室	休み	休み
午後	手術室	手術室	手術室	手術室	手術室	休み	休み
オンコール	オンコール						

1. 研修施設の指導体制と前年度麻酔科管理症例数

本研修プログラム施設群における総指導医数:48人

研修プログラム施設群における研修総症例数		2591
(特殊症例内訳)	小児(6歳未満)の麻酔	63
	帝王切開術の麻酔	125
	心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	150
	胸部外科手術の麻酔	110
	脳神経外科手術の麻酔	145

① 専門研修基幹施設

・済生会横浜市東部病院

特徴: 済生会横浜市東部病院は平成19年3月に開院、救命救急センター・集中治療センターなどを中心とした急性期医療および種々の高度専門医療を中心に提供する病院である。また、急性期病院であるとともに、ハード救急も担う精神科、重症心身障害児(者)施設も併設されている。また、「より質の高い医療の提供」に加え「優秀な医療人材の育成」も重要な使命と考え、研修医、専門医の育成にあたっており、医師、すべての職員が、充実感をもって働くことができる職場環境の整備にも積極的に取り組んでいる。

麻酔科管理症例数		当施設全症例	研修症例数
		5265	2000
(特殊症例内訳)	小児(6歳未満)の麻酔	53	20
	帝王切開術の麻酔	350	100
	心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	166	95
	胸部外科手術の麻酔	170	70
	脳神経外科手術の麻酔	245	95

② 専門研修連携施設A

・慶應義塾大学病院

慶應病院における麻酔科の診療は手術麻酔のみならず、集中治療、ペインクリニック、疼痛緩和治療と多岐にわたっており、また呼吸ケアチームの一員として、院内の人工呼吸器管理にもあたっている。大学病院なので心臓外科・呼吸器外科・小児外科などの特殊麻酔も数多く、専門医になるための必要症例を十分に経験できる。

・東京都済生会中央病院

東京都指定二次救急医療機関及び救命救急センターに指定されており、年間5000人以上の救急搬送患者を受け入れている。麻酔科管理の対象は、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、脊椎手術、血管手術など幅広い症例をカバーしている。2017年度からは産科が再開になり、産科麻酔の増加が見込まれる。手術室外では、放射線室での脳血管内治療の麻酔も行っている。

・公立学校共済組合 関東中央病院(以下、関東中央病院)

高齢化が進む世田谷区において、急性期医療を担う中核病院となっている。地域支援病院・東京都がん診療連携協力病院として、地域に貢献している。ほぼ全ての診療科に於いて手術治療を含めた総合的な治療が行われている。麻酔科管理症例1900件余りのうちの殆どで全身麻酔が施行されている。また鎮痛のための硬膜外麻酔・脊髄くも膜下麻酔・各種神経ブロック等も積極的に併施しており、麻酔管理・周術期管理における指導体制も充実させている。

・東邦大学医療センター大橋病院

周術期センターが設置されており、麻酔科医、薬剤師、看護師、歯科衛生士による総合的な評価を行い、術前から術後まで安全で質の高い管理が可能となっている。ペインクリニックは麻酔科発足以来、慢性疼痛の診断と治療を全国に先駆け教室のテーマとしている。

・国家公務員共済組合連合会立川病院

研修においては、麻酔科医としての知識や技術を身につけるだけでなく、チーム医療に欠かせないコミュニケーション能力を身に付け、これからの医療で必要とされる医師の育成をこころがけている。

・日本鋼管病院

麻酔科・ペインクリニック外来では、主に慢性疼痛を対象に疼痛緩和や生活の質・日常生活の向上を目的とした「薬物治療」や「神経ブロック」、「手術療法」を行っている。

施設名		連携 A					
		慶應義塾 大学病院	済生会 中央病院	関東中央 病院	東邦大学 大橋病院	立川病院	日本鋼管 病院
総症例数		8,392	2,960	1,922	3,090	2,625	1,578
研修症例数		100	100	100	90	30	100
(特殊症例 内訳)	小児(6歳未満)の麻酔	20	0	0	0	3	0
	帝王切開術の麻酔	20	0	0	0	5	0
	心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	20	10	5	0	0	0
	胸部外科手術の麻酔	20	10	5	0	4	0
	胸部外科手術の麻酔	20	10	10	0	0	0

③ 専門研修連携施設B

・東京都立小児医療総合センター

急性期医療や治療が困難な小児患者への高度専門治療と小児救命救急医療を提供する施設である。小児患者への総合的な医療を提供するため、産婦人科を除く全診療科があり、小児がん拠点病院、こども救命センターの指定を受けている。また、隣接する多摩総合医療センターとともにスーパー周産期センターの指定を受けており、緊急に母体救命処置を必要とする妊産褥婦を多摩総合医療センターで受け入れ、連携して治療を行っている。

・川崎市立井田病院

緩和ケア病棟を設置し、在宅医療にも力を入れているが、最近、救急部門の拡張も図り、これまでの約3倍のスペースと救急車がすぐ横付けできる設備を整えた。これらの機能を十分に発揮し、安全安心で質の高い医療の提供を目指している。

・社会医療法人財団石心会川崎幸病院

全国でもTOPの件数の胸部・胸腹部大動脈手術実施実績があり、麻酔科専門医育成の上では、多くの心臓血管外科手術の麻酔を経験できることが最大の特徴である。胸腹部大動脈瘤手術に加え、緊急手術も多く、管理にも多様なバリエーションがあり、専門医教育施設として今後も発展できる。

施設名		連携 B		
		小児医療 総合センター	川崎市立 井田病院	川崎幸病院
総症例数		3,948	1,398	4,055
研修症例数		20	1	50
(特殊症例内訳)	小児(6歳未満)の麻酔	20	0	0
	帝王切開術の麻酔	0	0	0
	心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0	0	20
	胸部外科手術の麻酔	0	1	0
	脳神経外科手術の麻酔	0	0	10